

【2年】

○=よい点 ●=課題

国語	
■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉のまとまりや響きなどに気を付け、日々意欲的に音読に取り組んでいる。 ○文字の学習に意欲的に取り組んでいる。 ○黒板を見ながらノートに板書を写すことができている。 ●教科書の内容を読み取ったり、教科書から抜き出したりすることが難しい児童がいる。 ●書くことへの苦手意識があり、言葉や文を書く技能の習得・向上に時間がかかる児童がいる。 ●順序に沿って大事なことを話したり、聞いたりすることが難しい児童がいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力が身に付く教材、教具の工夫 ・読む力が楽しく身に付く音読指導 ・ICTを活用した教材の用意 ・書くことへの意欲を向上させるための手立て
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間を確保し、絵本の読み聞かせを積極的に行うことで、読書量や語彙を増やし、想像を広げながら読む活動を充実させる。 ・行事ごとに作文を書く機会を設け、考えて書く経験を増やす。 ・週末にテーマを決め書く習慣を家庭学習に位置づけ、書く経験を増やす。

算数	
■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○定規を使ってノートに筆算を書き、意欲的にたし算、ひき算の繰り上がりや繰り下がり学習に取り組んでいる。 ○1000までの数を正しく数え、位をそろえて書くことができる児童が多い。 ●指を使いながら計算している児童がいる。 ●文章題から加法か減法かを考え、立式することを苦手とする児童がいる。 ●早く問題に取り組もうとするあまり、正確に計算ができていない児童がいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・数を足したり引いたりする活動を日常生活の中で意識させる工夫 ・文章問題で、示されている条件や問われている事柄を把握する力を育む指導の工夫 ・長さやかさ、時間を日常生活の中で意識させる工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間の中で計算を正確にできる機会を増やす。 ・家庭と協力し、生活の中で具体的な場面を設けて長さやかさ、時間や時刻のイメージをもたせる。 ・文章問題に出てくる数字や、たし算となる言葉（合わせて・ぜんぶで等）やひき算となる言葉（残りは・～減ると等）などのキーワードに印を付け、問題演習を通して、繰り返し練習をする。

生活	
■児童の状況	○人や自然と関わることに興味をもち、楽しく活動することができる。 ●見たことや感じたことを絵や文章に表現することに苦手意識を感じている児童がいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> 生活体験の個人差を補う体験活動の充実 追究したいと思える学習活動の設定 多様な表現方法があることを知り、その方法に慣れさせるための指導法の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れる活動や継続的な栽培を積極的に取り入れる。 実際に肌で感じる場面を多く設定する。日常の会話のなかで出てきた児童の気付きや疑問を授業に取り上げる。 様々な表現方法を身に付けるために、見付ける、比べる、例える、繰り返す、試す等の活動を繰り返し行う。 記録カード等を書く前に、活動を通して気付いたこと、考えたことを伝え合う場をつくり、友達の考えや気付きを共有する。

音楽	
■児童の状況	○曲に合わせてリズムを打ったり、体を動かしたりしながら、生き生きと歌を歌ったり、踊ったりしている。 ○鍵盤ハーモニカを手の形や指使いに気を付けて演奏することができる。 ○曲に合わせて打楽器を演奏することを楽しんでいる。 ●鍵盤ハーモニカの演奏では、適切な息づかいやタンギングが身に付いていない児童が見られる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカの息づかいやタンギングの指導方法の工夫 拍を感じ取ってリズムを打つことが困難な児童への指導の工夫 明るい発声の仕方、正しい姿勢での歌唱指導の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカの程よい吹き方、息づかいの仕方などの動画を見せ、イメージをもたせて練習する。 指番号を用いて繰り返し指導を行い、正しい指使いを意識できるようにする。 拍の分かりやすい曲に合わせ、繰り返し拍を打つ練習を行う。 綺麗な歌声や正しい音程を更に多く聴かせ、自分の声の出し方を意識することにつなげる。

図画工作

■児童の状況	○造形活動を楽しみ、意欲的に取り組む児童が多い。 ○材料を生かして、創作できる児童が多い。 ●はさみで切る、のりを付ける等の手を使う基本的な活動の作業時間や仕上げに個人差が見られる。 ●自分の発想に自信をもって表現できず、作品例や友達作品をまねる児童が見られる。
■指導についての課題	・切る・付けるなどの基本的な作業への支援 ・形にとらわれたり、作品のイメージがつかめなかったりする自由創造活動が進まない児童への支援 ・自分の発想を大切に、自信をもって造形活動に取り組める導入や助言の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・デジタル教科書を活用し、はさみの使い方やのりの使い方を丁寧に繰り返し指導する。 ・自分のイメージに作品がより近づくように、身近な自然物や様々な材料を用意し、完成図を書かせてから取り組ませることで、発想や思考を広げやすくする。 ・デジタル教科書を活用したり、友達作品を鑑賞したりすることで、様々な作品があることを伝え、どのような作品でも間違いはないという指導を行う。

体育

■児童の状況	○休み時間等は積極的に体を動かし外遊びを行っている。 ○体を動かすことを楽しみ、運動に対して意欲的である。 ●体の使い方をイメージできず、動作化できない児童もおり、個人差が大きい。 ●課題を的確に把握できず、自分に合った練習の場を選ぶことができない児童が多い。
■指導についての課題	・児童がルールを守り、楽しく活動に取り組ませる指導法の工夫 ・多様な動きをつくる運動遊びの工夫 ・意欲的に運動や遊びに取り組ませる指導法の工夫 ・児童の課題に合わせた練習の場の工夫（マット、跳び箱を使った運動遊び等）
■授業改善に向けての具体的な方策	・最初だけではなく、授業を行う最中にも何度もやり方を確認する。 ・様々な運動遊びに対する感覚（走る・蹴る・跳ぶ・バランスを取る・ぐる・まわる等）を高められるよう、フラフープやなわとびを活用した遊び、ボール遊び、鬼遊び等の活動を取り入れる。 ・動きを互いに見合い、助言する中で、よい動きの学び合いを図る。 ・目標や課題を明確に示して指導を行う。